

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会

医療法人社団 東京石心会

医療法人社団 新東京石心会

社会福祉法人 石心福祉会

<http://www.sekishinkai.or.jp>

海燕

う み

つ ば め

石心会 BULLETIN 隔月刊

発行人：石井暎禧

編集人：辻田征男

発行：石心会法人事務局

〒212-0014 川崎市幸区大宮町 23 番地 5

コーラルビル

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

埼玉石心会病院 新築移転 1 周年 記念号

昨年11月1日に新築移転した埼玉石心会病院は、本年11月をもって何とか激動の1年を乗り切ることができました。この間に新たな環境で頑張ってくれました全ての職員、並びに多大なるご支援いただきました多くの法人関係者の皆様に病院を代表して感謝申し上げます。

過ぎてしまうと月日の経つのは早いもので、この新病院に数年前から計画、開設準備などに関わらせていただいた一人として、できあがってみて感じたこと、見えてきたこと、そしてこれからこの病院で是非実現したいことなどが頭を巡ります。

地域における 救急医療のニーズを実感

埼玉石心会病院は349床の旧病院から101床増床し、この1年間を450床でのフルオープンに向けての準備期間として位置づけてきました。

石井暎禧理事長のお考えのもと、これまで通り、断らない医療をモットーに地域医療に根ざす総合病院であるとともに、心臓、脳、救急などの分野をセンター化し、より専門特化した医療活動を展開するという基本構想が作られました。

救急部門はその症例数、救急車受け入れ数の多さから、救急部と総合診療科部

埼玉石心会病院新築移転1年を迎えて みんなで作る石心会医療

石原正一郎

埼玉石心会病院院長

門が一つとなるER総合診療センターが開設されました。旧病院では救急の現場が手狭であったため、新病院ではER外来部門、ホールディングベッドエリア、初療エリアなどにそれぞれ広めにスペースが確保されましたが、実際に働いてみるとエリアが広すぎて、中で働いているスタッフ同士の顔が見えず、救急現場の全体像が把握しにくいといった設計上の難しさも経験しました。

その中でEMTをはじめとする主要スタッフがインカムをつけ、各部門と迅速に連絡を取りながら日々の救急救命活動を展開しています。開院後のこの1年で救急車搬入数は8,000台を超え、この地域における当院の役割と責任を改めて感じるとともに、日々救急の現場で忙しく働いている

現場職員には本当に頭の下がる思いです。

今後、当院がさらに救急部門で飛躍するためには、現在のER総合診療センターを救命救急センターにする必要があると考えています。そのためには救急部と総合診療科の医師の増員が急がれます。

また、現時点ではまだ満足に対応しきれていない整形外傷や緊急内視鏡治療などの課題も残っていますが、新たな医師の入職希望もあり改善策が見えてきました。



看護部の皆さんご苦勞様、 そしてナースに今後期待すること

開院前の最も大きな課題は看護師の確保でした。しかし新病院の建築が進み、次第にその姿が見えてくるにつれ看護師の就職希望者が増加し、さらには川崎の本部からも多くの看護師を新病院に派遣していただきました。

おかげ様で、この1年で看護基準を満たす101床の増床が実現でき、何とか11月1日に450床全床オープンに漕ぎ着けた次第です。

急ピッチで進められた看護師補充とそれに伴う増床により、看護部は非常に大変な1年となりましたが、わたくし、院長の希望としては、これからさらに次のステップに踏み出して欲しいと願っております。

私の考える次のステップとは看護レベルの向上とスマイルです。

看護師が行う看護の質の向上は、今後当院が最大に重要視している課題の一つです。一人一人の看護師が自分の家族を安心して入院させられる病院（医療・看護）を目指してほしいと思っています。病院としては看護部とともに看護師らのレベルアップには全面的に応援いたします。

そして職場では、患者さんやご家族、そして一緒に働く仲間にもスマイルが大切です。笑顔でしっかりとした看護を提供できる看護師の今後の活躍に期待しております。

新電子カルテシステムについて

開院とともに導入したSSIの新電子カルテシステムへの習熟と各現場ニーズに合わせた電子カルテの作り込み作業にもかなりの時間と労力を要しました。開院当初は、旧病院で日々行っていた作業が新電子カルテにおいてはままならず、現場での戸惑いやストレスも多かったように思います。

しかしSSIの開発担当者の方々、並びに当院ITセンタースタッフには大変ご苦勞いただきましたが、この1年で各部門からの多くの改善要求を吸

い上げていただき、まだ時間を要する残件がいろいろとあるものの重要案件に絞り込み、今後1年以内に大方の改善希望案件が解決する見込みが立ち、これも先が見えてきました。

世の中で働き方改革が叫ばれる中、今回この新電子カルテ導入の最大の目的は業務改善、業務の効率化です。果たしてそれぞれの部署でこの目的は達成されたのでしょうか？ この点もそろそろ改めて評価してみる予定です。

ユニホームに託した思い

旧病院時代から当院にお越しいただいていた患者さんはとても敏感です。新病院になって変わったことにすぐにお気づきになります。その一つが看護師や女性事務員のユニフォームの新調でした。

ユニフォームという言葉の通り、制服には外から見たときの統一感があります。チームスポーツに必ずユニフォームがあるのは、チームが一つになる作用があるからです。今回、特に院内で患者さんやご家族などに対応してもらう機会の多い看護師や女性事務職員を中心にユニフォームを新調したのは、建物だけではなく組織としても新たに統一したチームとしてリニューアルし、きちんとした制服で対応する病院の姿勢を示したいと考えたからでした。

「あら素敵な制服ね」と言われ、少し照れながら丁寧に患者さん対応をしている職員を見て、患者さんにとっても職員にとっても良かったなと思いました。統一したユニフォームに袖を通すことで職員も気持ちが少し引き締まりますし、何より女性職員たちが職場で輝いて見えるようになったと感じています。

今回の新病院構想の中で、当初より法人にお願いしてご理解いただいたことがありました。それは日々忙しく断らない医療を実践する職場を支えている職員を大事に考え、如何に活躍してもらえるかを考えるという点でした。

設計段階から職員には気持ちよく食事を取ってもらえるよう最上階の最も眺望の良いスペースに



職員用レストランを設け、食事メニューの詳細までこだわりました。また夜勤明けや朝早くから出勤し、その日の準備に追われる職員のことを考え、毎朝焼きたてのパンを食べられるように朝7時半からカフェをオープンさせました。

その結果、少々体型や顔が丸くなった職員もいたようですが、院内に楽しい話題が一つ増えましたし、明らかに食事をする職員の笑顔が増えました。この笑顔がきっと日々の仕事への活力に繋がっていると信じています。

今後の課題と展望

さて、忙しく過ぎ去った開院からの1年でしたが、当院では現在様々な課題が見えています。一つはもち論我々の医療レベルの向上です。これには純粋な医学レベルの向上、専門医療レベルの向上という側面と医療サービスの向上という両面があります。

医療レベルの向上は、何と言っても目指すは治療成績、看護レベルの向上です。そして医療サービスという面においては、患者さんやご家族の満足度、納得度ということになるでしょう。今後改めて各部署においてこの両面のレベルアップを進めていただこうと思っています。そしてこれらを目指す中で、これまでのやり方に固執せず、良い

方向に変わることは積極的になる必要があると考えます。

もう一つの大きな課題は人材育成です。人が育つ組織、人を育てられる組織は魅力的ですし、育つことで今までできなかった活動が可能になるとともに、日々の活動そのものの質の向上が得られます。

人が育たない組織には、当然人は集まりませんし、人は去って行くものです。今後当院では職員がキャリアアップ、スキルアップする活動を全面的に支援し、1年働くことで人が1年分育ちレベルアップする組織を目指します。そして近い将来の目標として海外施設との連携により当院職員を医療施設団として海外に派遣し、何らかの国際貢献ができる組織に育ってもらいたいと思っています。

やっと全床オープンし、本来のスタートラインに立った当院は職員を大切に考え、地域の医療ニーズと我々の置かれた立場を十分に見据えながら確実に前進したいと思います。たまたま同じ時期に同じ病院で働くことになった職員の皆様とのご縁を通し、みんなで作る埼玉石心会の医療活動が太く、長く地域にお役に立てるように精進したいと思います。

来年度看護師派遣の動向

辻田征男

専務理事・事務局長

石心会本部では佐藤久美子・法人看護人事部長を中心に、神奈川から埼玉石心会病院に看護師を派遣する活動を行っております。

この派遣事業は、2年間の勤務を条件に今年度中に50名の派遣が決定し、本日までに47名の派遣看護師が埼玉石心会病院で働いています。

この派遣を来年度は中止することに決定しましたが、その理由は埼玉石心会病院の募集力が高まったからです。

1年前の開院時に365人だった看護師の人数は、11月1日現在512名となりました。このうち埼玉石心会病院単独で採用できた看護師はちょうど100人でした。

これは当初の予想を良い意味で裏切る数値です。

他にも朗報があります。

2019年3月新卒の看護師は今年は40名採用しましたが、前身の狭山病院を入れた31年間で初めて定員オーバーとなって、やむを得ず数名の新卒ナースの採用をおことわりする事

態になりました。

こうした事実は、新病院への移転を契機に埼玉石心会病院の募集力が飛躍的に高まったことを示していると言って間違いないと考えられます。

こういった状況を考慮して来年度の派遣活動はいったん中止して様子を見ることに決定しました。

川崎幸病院に次いで埼玉石心会病院も看護師の採用に不自由のない病院への兆しが見えており大変喜ばしい事態です。

ヘリコプター救急搬送の受け入れ開始

屋上ヘリポートを備えた埼玉石心会病院が、防災ヘリ、ドクター・ヘリの試験運用を終え、10月1日から運用を開始しました。

運用開始7日目に病院から直線距離で約30kmの消防署から1例目のヘリ搬送の受け入れ要請がありました。自宅で意識を失っている70歳代の女性で消防署のヘリポートまで救急車搬送され、そこから当院までヘリ搬送となりました。

多発性脳梗塞の診断となり、血管内治療科の上宮奈穂子医師による急性期治療後、11月9日リハビリテーション目的で転院となりました。

2例目は、10月13日ゴルフ場で胸痛出現した60歳代男性の受け入れ要請でした。当院到着後、救急科西紘一郎医師が対応し、胸部大動脈解離との診断となりました。心臓外科の佐々木健一医師と加藤泰之医師が緊急手術施行し、一命をとりとめ術後



経過良好で現在入院中です。

その後も11月15日現在まで、5例のヘリ搬送を受け入れています。

ER総合診療センターの石井耕士医師は、

「運用から1か月



半で5例もヘリ搬送があり、正直驚いています。埼玉という土地柄、広域搬送の需要があるのだと思います。今後も地域の皆さんや医療関係者に信頼され、貢献できるように、断らない医療、患者主体の医療を念頭に置いて精進していきます」

と、話しています。

第7回 川崎幸病院医療連携の会開催



石井暎禧
石心会理事長

山本晋
川崎幸病院院長

11月16日、川崎幸病院と医療連携をするクリニックや病院の医師をはじめ主なスタッフが川崎市内のホテルに集い、より円滑で深い連携を行うために「第7回 川崎幸病院 医療連携の会」が開催されました。

この日、参加したのは川崎市幸区、川崎区、中原区、麻生区、横浜市鶴見区など36クリニックの82人、26病院の82人の合計145人。川崎幸病院の医師35人をはじめ石心会グループのクリニック医師、看護師、コメディカルなど約100人が対応しました。

病病連携の棲み分けを

まず山本晋・川崎幸病院院長が開会の辞として、「すでに川崎幸病院がどのような病院であるのか十分ご承知だと思います。やはり病院には得手、不得手なことがあります。お集まりいただきましたクリニック、病院の方々のご協力を得て、川崎市や周辺地域の医療をさらに充実させていきたいと思っています。川崎幸病院はじめとする石心会グループはますます精進してまいります。よろしくお願いします」と、挨拶しました。

続いて石井暎禧・石心会理事長も挨拶に立ち、

「この会も回を重ね7回目を迎える



かことができました。川崎はじめ横浜、東京の一部を含む医療施設の連携を深める役割を果たしていると思います。

最近では、地域のそれぞれの医療機関が、得意とする分野を住み分けて連携が進められています。今回のこの会には、病院の参加が多くなりました。厚生労働省では、一律に一般病床として病院を位置付けていますが、その内容を機能別に高度急性期、急性期、回復期、慢性期と分類しています。

川崎市には二つの第二次医療圏があり、われわれは南部に属していますが、近隣の横浜市や東京都の一部の病院と協力して病床機能に応じた住み分けをさらに進めて行くようになると思います。

この『医療連携の会』で、お互いの病院やクリニックをさらによく知って機能的な病病連携、病診連携を深め、これからの川崎はじめその周辺の地域医療を充実していただきたいと思います」と、この連携の大切さを強調しました。

石心会グループの 各医療施設を紹介

第1部の講演会では、石心会の各事業所が紹介されました。

川崎クリニックの若狭幹雄副院長、さいわい鹿島田クリニックの笠間靖史



神奈川地区の事業所紹介の発表者

事務課長、さいわい鶴見病院の塚本喜昭院長、石心会在宅事業部の深井純子所長、川崎幸クリニックの杉山孝博院長、第二川崎幸クリニックの関川浩司院長がそれぞれの医療施設を紹介しました。

また、川崎幸クリニックに新設された失神外来について、伊藤賀敏・川崎幸病院循環器内科副部長/心臓病センター副センター長から説明が行われました。

顔が見える医療連携を目指す

第2部は、参加者それぞれが「顔が見える医療連携」を深めることを目指して懇親会が開催されました。会場では川崎幸病院の各科の医師が紹介され、その後医療情報の交換を行うなど親睦を深めました。



懇親会

パートナーシップ・ナーシング・システムの導入をめぐる



加古 幸子
埼玉石心会病院
看護部師長

埼玉石心会病院の病棟は、看護体系7:1を取得し、モジュール型継続受持ち方式で病棟看護を実施しています。この方式は、米国で開発されたプライマリーナーシングとチームナーシングを合わせたものを、さらに日本の病院にふさわしいように考案されたわが国独自の看護方式です。

1つの病棟内を2つ以上のチームで編成し、チームの看護師を数名ずつモジュール（単位）に振り分けます。このモジュールで一定期間、担当患者の入院から退院までの一貫した看護を行います。米国の病院での看護師数と比べて、日本の病院看護師数が圧倒的に少ないという背景から考えられたものと言えるでしょう。

日本の病院の看護方式の歴史は、受持方式にはじまり、機能別看護方式が導入され、さらにチームナーシングが行なわれました。1977年にプライマリーナーシングが日本に紹介され、その後86年に日本でモジュール型継続受持方式が発案され、さらに2009年、日本で開発されたパートナーシップ・ナーシング・システム（PNS®）が多くの病院で採用されることになりました。300床以上の病院で多く採用されているのが特徴です。このPNS®を埼玉石心会病院では一部採用しています。

PNS®の導入

埼玉石心会病院が病棟看護にPNS®を導入したのは2014年のことでした。PNS®は、福井大学医学部附属病院で主に医療事故を防ぐ目的で開発されましたが、その他に2007年の7対1入院基本料取得に伴い新人看護師が増加し、プライマリーナーシングのデメリットと言われる看護師の能力によってケア内容に差が生じることや、看護師間のコミュニケーションが不足しやすいなどの課題を解決するためにも生み出されたと言われています。

1人の患者に対して2人の看護師が、一緒に行動し看護を提供します。2人の看護師はパートナーとして対等な立場で、互いの特性を活かして相互に補完し、協力して毎日の看護を行います。また院内の委員会活動から病棟内の係の仕事まで、1年を通じて共に活動して成果と責任を共有するというものです。

PNS®導入の舞台裏

2012年5月に私はアメリカ研修に行きました。その時、金沢大学医学部附属病院の方と一緒に、その病院ではPNS®を採用しており、とてもいい効果が出ているとの話を聞くことができました。PNS®に興味を持った私は、同年10月に日本看護管理学会例会での「PNS®の魅力」というテーマの講演会に参加し、そ

こで福井大学病院でのPNS®研修があることを知り、2013年10月に研修へ参加しました。

そこで、PNS®が患者にとって安全で質の高い看護を提供できることを確認し、当院でも導入が検討され、2014年に、私が配属されていた内科病棟で導入しました。さらに、2017年4月より外科病棟に導入しました。

新病院移転より全病棟導入と決定されましたが、PNS®に関する学術的、実践的知識が看護部全体に浸透できていませんでした。そこで2018年7月に、PNS®を開発した福井大学附属病院の上山香代子看護部統括看護師長を招聘して「PNS®の仕組みと仕掛け」というテーマで講演会を開催しました。師長、副師長、主任を中心に看護スタッフの八十数人が参加しました。

この講演で、看護部の空気が一変し、全病棟で導入へ向けた取り組みが加速しました。福井大学附属病院では、外来、手術室、ハイケアといった一般病棟以外にも導入されています。当院においても全病棟で導入が可能ではないかと考えています。現在では、各病棟で準備を進め、徐々に導入を開始しています。

導入に対する反応とその効果の一面

当院のPNS®は、内科病棟から始まりました。私の所属する部署でも

あり、大きな抵抗感はなく、むしろちょっとチャレンジしてみようという思いで始まりました。導入では、まず事細かに段階を追って説明し、理解をしてもらいながら進めました。その日、その日に困ったことをそれぞれが書き出し、これをまとめて1週間たって振り返り、改善策を検討して解決していきました。

ペアの相手が新人では、負担感が強くなるという意見もありますが、先輩看護師は、新人とペアを組み患者に向き合うことで、自分自身が忘れてしまった新人の瑞々しい感性に触れ自己を振り返り、さらに最新のエビデンスを新人から学ぶこともできます。また、新人は、常に相談で

きる相手が傍におり、安心して業務ができます。先輩看護師の優先順位・情報収集・時間管理の仕方などOJTとして学ぶこともできます。PNS®に慣れてきた今となつては、一人でやる怖さを感じるという感想も聞かれています。

PNS®の導入により、各ペアで時間管理を業務遂行すること、昼休憩後の残務を全員で補完し合うことで、業務効率が上がり、時間外勤務が減るという思いがけない結果も出ています。

次に、スタッフが定着する効果が生まれています。従来の看護体制では、看護師1人で患者の看護と責任を担い、業務を抱え込む状態であり、

スタッフ間での協力体制が希薄な状況でした。PNS®導入により看護師間のコミュニケーションが増え全員で業務を補完し、定時終了に向けて協力し合うことや委員会・グループごとの活動における取り組みを通じて仲間意識が生まれ、職場の雰囲気が変化し、スタッフの定着につながっていると思われます。

今後さらに導入を拡大していきませんが、さまざまな課題が出ることは当然あると思います。また診療科ごとに違ったスタイルも出てきますが、一つ一つ問題の解決をはかり、埼玉石心会病院独自のPNS®スタイルを確立していきたいと思います。



川崎幸病院と 看護師の私

2009年の秋、私は生まれて数か月の息子と一緒に、移転前の川崎幸病院の佐藤久美子看護部長の面接を受けていました。

それ以前は、大阪の約500床の民間病院でICUの看護師でしたが、出産のため産休に入りました。そんな時、夫の東京転勤が急に決まり、出産直後に私も東京に引っ越しました。

東京では、育休明けに勤務できる病院を探し、いくつかの病院で面接を受けようと思いました。ところが、どの病院からも面接には子供を連れて来ないようと言われ、慣れない土地で生まれて間もない息子を預ける手段も分からず、困っていました。

川崎幸病院に面接をお願いした

時、このことを伝えると「お子さんと一緒にどうぞ」とのことで、とにかく入職のとは口口の面接まで、こぎつけることができました。

急性期病院にはICUは不可欠

入職当時の川崎幸病院は、200床を少し超える病院でしたが、急性期病院であるためにはICUは不可欠です。大阪で勤務した病院は500床でしたがICUは5床しかなく、重症患者を一般病棟に入れなければならなかったことが多かったのに対し、ここには20床ほどありました。

面接の後、私はここでも集中治療領域で勤めることになりました。

2012年に移転した新病院では

326床のうちICU、ACU、CCU、SCU、HCU合わせて49床あり、急性期病院それもDPC特定病院群の全国155病院のうちの一角を占める病院としての機能を十分に持っていると言えます。

病気は待ってくれない

急性期病院で仕事をする看護師にとって、あまり曜日感覚はないのではないのでしょうか。少なくとも私にはありません。病気は時と所を選ばずに発症します。休日だからといって、病気治療を休めるはずもありません。従って患者のそばにいる看護師は、曜日に関係なく看護にあたるわけです。



宮口 貴子

川崎幸病院
看護部 看護科長

もちろん休日は必要で、決められた休日数はいただいています。でも土日だから休みたいとは思いません。平日が休みの時はそれなりの楽しい過ごし方を見つけています。

何かの都合で、土日に休むことを前提に勤務契約をする方もいます。うまく勤務のローテーションさえできれば何の問題もありません。

病院の平日化について

今年になって病院は、土・日、休日の平日化運営を打ち出しました。このことは看護師にとってさほどのインパクトはありません。

むしろ看護にとってはありがたい面すらあります。少なくともチーム員として治療に関わる常勤の医師が、土・日、休日でも病院にいるからです。患者に変化が起きた場合、その医師が病態を把握していますか

ら、素早く変化を伝えられ、的確に対処することができるからです。また、緊急入院してくる患者への対応も、いつも通りにできます。

平日化には、むしろ、土・日、休日に休むことが社会の通念として考えて契約している職種の方が、戸惑っているのではないのでしょうか。単に増員すればいいというのではなく、やはり急性期病院の機能と役割を考えると、医療従事者はそれに合わせた考え方が求められるでしょう。

考えてみると、いつ頃から土曜、日曜はみんなが休みなどという考え方になったのでしょうか。昔は百姓というのは百の仕事の意味して、農民という意味ではありませんでした。農業には晴耕雨読などという付加された考え方があるように、さまざまな職種にはさまざまな働き方、休み方があっても不思議ではありません。

病院は多様な職種の人で構成されていますが、病院を動かすという目的では、ひとまとまりになる必要があると思います。

多様な看護に挑戦したい

川崎幸病院で一緒に面接を受けた息子も小学校の3年生になりました。私はお金を貰うために働くのではなく、継続して仕事をしたいという気持ちで看護師を選びました。これまでは集中治療室での看護に携わりたいという思いでいましたが、今は亡くなった患者さんの遺族へのグリーフケアにも関心を持ってきました。これから息子の成長と仕事のタイミングを考えながら、看護師としての人生の舵取りをしたいと思っています。



『自由と規律』 —イギリスの学校生活—

池田潔著 岩波新書

ケンブリッジ・トリニティーカレッジの参観に来ていたアメリカ人の富豪は、広々とした前庭の芝に感嘆した。富豪は草刈りをしていたみすぼらしい身なりの老人にドル札を渡し、芝の手入れの秘訣をたずねた。「水をやり、ローラーをかけなさい」

老人はドル札と富豪の顔を見比べている。富豪はもう一枚ドル札を渡した。

「水をやり、ローラーをかけなさい」

さすがにムツとして富豪はもう一枚ドル札を渡すと、「そんな事はわかっている！」と怒鳴った。

老人はドル札をポケットにねじ込むと、こう答えた「それを毎日、500年繰り返すとうなるんで……」

当時のトリニティーカレッジの校長、ノーベル物理学賞の受賞者でもあるトムソン博士は「あの3枚のドル札こそが、俺が生涯で正直に稼いだ唯一の金さ」と

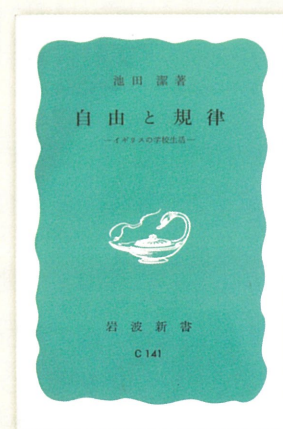
うそぶくのである……。

イギリスのパブリックスクールに14歳で留学し、その後ケンブリッジ大学を卒業した元慶應大学教授・池田潔の柔らかな筆による留学記である。

徹底した規律の元にしか成立しない本当の自由とは、本当のスポーツマンシップとは、チームプレーとは……。パブリクスクールの徹底した教育を通して培われるイギリス伝統の“ノブレス・オブリージュ”は、我々医療者にも人を育てるための多くのヒントを与えてくれる。

1949年初版、すでに108刷を超えている岩波新書、名著中の名著である。

山本 晋・川崎幸病院院長



石心会カレンダー

神奈川地区

埼玉地区

2018年
12月
1日 土
2日 日
3日 月
4日 火
5日 水
6日 木
7日 金
8日 土
9日 日
10日 月
11日 火
12日 水
13日 木
14日 金
15日 土
16日 日
17日 月
18日 火
19日 水
20日 木
21日 金
22日 土
23日 日
24日 月
25日 火
26日 水
27日 木
28日 金
29日 土
30日 日
31日 月

【小雪】

しょうせつ

【大雪】

たいせつ

【冬至】

とうじ

12月1日(土)

防災対策チーム
活動
クロスロードゲー
ム(災害時状況判
断テスト)

12月3日(月) 秩父夜祭

12月4日(火)

院内研修 ヘル
パー研修

12月5日(水)

看護部管理者研
修

12月7日(金)

看護診断サロ

12月8日(土)

みんなの健康塾
「ストップ! NO 卒中!」
脳卒中市民公開講座第2弾
アゼリアホール
座長 石原正一郎・埼玉石心会病院院
長
「脳梗塞の予防と治療」 掛樋善明・埼
玉石心会病院脳神経外科副部長
「脳出血の予防と治療」 徳重一雄・埼
玉石心会病院脳神経外科副部長

12月11日(火)

既卒者交流会

12月12日(水)

院内研修 ラダー
I ジュニアII 研
修棟

12月13日(木)

院内研修 ラダー
II スタッフI 講義
室

12月13日(木)

看護部研修
フレッシュナース
Autumn研修I



12月17日(月)

院内研修 中途
採用研修 講義
室・コーラルビル

12月18日(火)

院内研修 ラダー
II キャリア採用者
研修 講義室

12月18日(火)

みんなの健康塾
クリスマス特別イベント
怒り不安イライラ年末一掃フォーラム
講師
稲富 正治・川崎幸クリニック臨床心理
士/室長
体操指導
猪田 佐和乃・川崎幸クリニック 認定理
学療法士
会場:川崎市産業振興会館1Fホール

12月19日(水)

院内研修 ラダー
III・IV スタッフII・
III 研修棟

12月20日(木)

院内研修 ラダー
I ジュニアI 研修
棟

12月22日(土)

ボランティア う
るおいコンサート



天皇誕生日

クリスマス・イヴ

クリスマス



12月25日(火)

看護部研修
レモンナース
Winter研修I

12月25日(火)

クリスマスコンサ
ート(初期研修医:
川崎真生子医師
他)

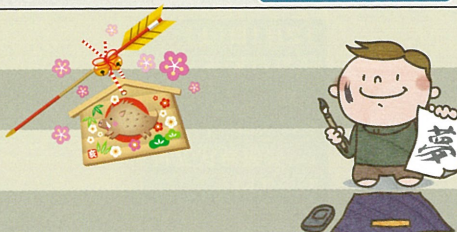
12月27日(木)

みんなの健康塾
年末感謝講演
講師
武井 直樹川崎幸クリニック 神経内科医師
宇田 晋・川崎幸病院 腎臓内科部長
成田 和広・川崎幸病院 外科副部長/
救急・総合診療部部長代行
会場:ミューザ川崎シンフォニーホール



大晦日

石心会カレンダー

		神奈川地区	埼玉地区	
2019年1月	1日 月		元旦	
	2日 火			
	3日 水			
	4日 木			
	5日 金			
	6日 土			
	7日 日	1月7日(月) ヘルパー研修		七草
	8日 月			成人の日
	9日 火			
	10日 水			
	11日 木		1月11日(金) 看護診断サロン	鏡開き
	12日 金	1月12日(土) ボランティア うるおいコンサート	1月12日(土) 看護部研修 ケーススタディ発表会	
	13日 土			
	14日 日			
	15日 月	1月15日(火) 院内研修 ラダー I ジュニアⅡ 研修棟		
	16日 火		1月16日(水) 院内研修 ラダー I ジュニアⅡ 研修棟 院内研修 中途採用研修 講義室	
	17日 水		1月17日(木) 院内研修 ラダー I ジュニアⅠ 研修棟	
	18日 木	1月18日(金) 腎臓病勉強会「腹膜透析の基本・管理」 場所: 川崎幸病院講義室		
	19日 金			
	20日 土			
	21日 日			
	22日 月			
	23日 火	1月23日(水) 看護部管理者研修		
	24日 水		1月24日(木) みんなの健康塾 新春合同イベント 美容形成フォーラム 講師 佐藤 兼重・川崎幸病院 形成外科部長 佐々木 小夏・ハクドラッグ鹿島田薬局 管理栄養士/ビューティアドバイザー 小林 綾・ハクドラッグモザイクモール港北店 管理栄養士/ビューティアドバイザー 会場: ミューザ川崎シンフォニーホール	
	25日 木		1月25日(金) 看護研究学習会	
	26日 金			1月26日(土) 若草山の山焼き
	27日 土			
	28日 日		1月28日(月) 川崎地区の合同新年会	
	29日 月	1月29日(火) 看護部研修 ライムナース Winter研修I		
	30日 火			
	31日 水			

石心会グループ学会発表一覧

2018.8～2018.10

◆川崎幸病院

学会発表

【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
長谷聡一郎	大動脈センター	2018.9.22	CIRSE 2018	Therapeutic effect of ultrasonography (US)-guided intra-nodal lymphangiography (INL) for inguinal lymphatic leakage due to femoral cut-down during aortic surgery	Lisbon	一般口演
長谷聡一郎	大動脈センター	2018.9.25	ESVS32nd Annual Meeting	Clinical Outcome of Intra-aneurysmal Sac Embolization during Endovascular Repair for Ruptured Aortiliac Aneurysms in 26 patients	Valencia	一般口演
左近龍太	外科	2018.9.16～19	The International Society for Disease of the Esophagus 16th Word Congress	EUS-guided trans-esophageal drainage of a mediastinal abscess during preoperative chemotherapy for thoracic esophageal cancer	オーストリア	ポスター発表
日月裕司	がん治療センター	2018.9.16～19	The International Society for Disease of the Esophagus 16th Word Congress	Exact Metastatic Rate of Cervical Nodes by Non-Selective Three-Field Dissection for the thoracic Esophageal Carcinoma	オーストリア	口演
日月裕司	がん治療センター	2018.9.16～19	The International Society for Disease of the Esophagus 16th Word Congress	Regular Abstracts II: Malignant	オーストリア	座長
川上 徹	循環器内科	2018.10.17～20	11th Asia Pacific Heart Rhythm Society conference Scientific Session (APHS2018)	Alternative Pacing Site: Septal Versus His Pacing	台北	口演
伊藤賀敏	循環器内科	2018.8.28～30	The International Hypothermia and Temperature Management Symposium	Neurological Prognostic Indicators and Current Status of Extracorporeal CPR for Cardiac Arrest Patients	シドニー	口演
小向大輔	腎臓内科	2018.10.23～28	ASN KIDNEY WEEK 2018(アメリカ腎臓学会)	Association between receiving public assistance and long-term peritoneal dialysis outcomes in adults	San Diego	ポスター

診療部

【全国学会】

坏 宏一、 沖山 信、 栃木秀一、 平井雄喜、 広上智宏、 櫻井 茂、 尾崎健介、 大島 晋、 山本 晋	大動脈センター	2018.9.9	第 66 回日本心臓病学会学術集会	高血圧の急性大動脈解離への関与：StanfordA 型と B 型の違いを心肥大の程度で比較する。	大阪	一般口演
山崎元成、 長谷聡一郎、 山本 晋	大動脈センター	2018.10.5	第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会	人工血管置換術後に対する胸部ステントグラフトの治療成績	東京	一般口演
山崎元成、 長谷聡一郎、 山本 晋	大動脈センター	2018.10.6	第71回日本胸部外科学会定期学術集会	Thoracic Endovascular repair for complicated aortic dissection	東京	ポスター
櫻井 茂	大動脈センター	2018.10.7	第71回日本胸部外科学会定期学術集会	救命を優先した当センターの StanfordA 型急性大動脈解離の治療方針の検討	東京	シンポジウム
長谷聡一郎、 中川達生	大動脈センター	2018.10.25	第 59 回日本脈管学会総会	左総腸骨動脈瘤 AAAR 後遠隔期瘤増大に対して EVAR を施行した 1 例	広島	一般口演
坏 宏一	大動脈センター	2018.10.25	第 59 回日本脈管学会総会	高リスクである抗リン脂質抗体症候群患者に対する大動脈弁置換術において、積極的な周術期管理が成功した一例	広島	ポスター
坏 宏一	大動脈センター	2018.10.26	第 59 回日本脈管学会総会	急性大動脈解離への高血圧の関与：Stanford A 型と B 型の違いを心肥大の程度で比較する	広島	一般口演
伊藤慎吾	外科	2018.8.3	RPS2018 7th Reduced Port Surgery Forum	ヘルニア -TEP の MIS	北海道	一般演題

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
成田和広	外科	2018.8.3	RPS2018 7th Reduced Port Surgery Forum	単孔式腹腔鏡下鼠経ヘルニア根治術 (STEP) は推奨できるか	北海道	一般演題
伊藤慎吾	外科	2018.9.29	第 77 回日本癌学会学術総会	大腸癌の新規がん抑制遺伝子候補の機能解析	大阪	一般演題
伊藤慎吾	外科	2018.10.19	第 56 回日本癌治療学会学術集会	外科入院患者における退院支援の現状	横浜	ポスター発表
佐藤兼重	形成外科	2018.10.26	第 41 回日本美容外科学会学術集会	注入合併症アンケート全国調査報告	品川	パネルディスカッション
壺井祥史	脳神経外科	2018.9.13~15	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー 2018	Neuroform Atlas 留置後、動脈が瘤状に拡張し追加塞栓を要した後大脳動脈遠位部動脈瘤の 1 例	神戸	ポスター
永尾征弥	脳神経外科	2018.9.13~15	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー 2018	傍前床突起部内頸動脈瘤に対するコイル塞栓術後に一過性の外転神経麻痺を合併した 1 例	神戸	ポスター
藤井教雄	脳神経外科	2018.9.13~15	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー 2018	神経原性肺水腫を合併した塞栓源不明脳塞栓症の一例	神戸	ポスター
長崎弘和	脳神経外科	2018.10.10	日本脳神経外科学会第 77 回学術総会	脳動脈瘤手術に伴う頭部ピン固定後に硬膜下膿瘍をきたした 1 例	仙台	ポスター
壺井祥史	脳神経外科	2018.10.12	日本脳神経外科学会第 77 回学術総会	急性期血行再建術における t PA 併用の効果についての検討	仙台	ポスター
山名 慧	脳神経外科	2018.10.12	日本脳神経外科学会第 77 回学術総会	中大脳動脈 (M1) 閉塞に対する stent retriever と吸引カテーテルを併用した血栓回収療法 - 従来の治療法との比較検討 -	仙台	ポスター
長谷川明俊	婦人科	2018.9.14~16	第 60 回 日本婦人科腫瘍学会学術講演会	婦人科新規開設し、実施した早期子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術の検討	京都	一般口演
前林俊也、石橋直也、相澤拓也、坂口雅州、齋藤 勉、河守次郎、田中良明	放射線治療科	2018.10.11~13	日本放射線腫瘍学会第 31 回学術大会	P16 と Ki-67 を用いた原発不明頸部リンパ節転移の治療成績の検討	京都	口演
信澤 宏	放射線診断科	2018.8.31~9.1	JSAWI	卵巣癌初診時の硬化性骨転移の一例	淡路島	ポスター

【地方学会】

藤井教雄	脳神経外科	2018.10.27	Kanagawa Neuro-Intervention Seminar for Stroke	血栓回収療法前の予後予測における CT perfusion の有用性	横浜	口演
鈴木理仁	泌尿器科	2018.10.14	日本泌尿器科学会東部総会	両側腎周囲軟部腫瘍に対し組織診断が有用であった IgG4 関連疾患の 1 例	東京	ポスター
善山徳俊	泌尿器科	2018.10.14	日本泌尿器科学会東部総会	筋層浸潤膀胱癌に対する放射線併用シスプラチン動注化学療法の検討	東京	ポスター
竹内晋次郎	泌尿器科	2018.10.14	日本泌尿器科学会東部総会	下腹部殴打による膀胱損傷の 1 例	東京	ポスター
小向大輔	腎臓内科	2018.10.20~21	第 48 回日本腎臓学会東部学術大会	両側急性腎盂腎炎から AKI を発症し腎機能障害が長期に持続した一例	東京	ポスター
加藤亜唯	腎臓内科	2018.10.20~21	第 48 回日本腎臓学会東部学術大会	悪性高血圧症による二次性血栓性微小血管症に対する厳格な降圧療法により透析療法から離脱し得た一例	東京	ポスター
柏葉 裕	腎臓内科	2018.10.20~21	第 48 回日本腎臓学会東部学術大会	Tubulointerstitial nephritis with IgM-positive plasma cells と診断した慢性間質性腎炎の一例	東京	口演
川崎真生子 根本隆章 村上弘之	臨床研修部	2018.10.24~26	第 67 回日本感染症学会東日本地方学会学術集会	過粘調性肺炎桿菌感染症に感染性大動脈瘤を合併した一例	東京	口演
根本隆章 村上弘之	感染制御科	2018.10.24~26	第 67 回日本感染症学会東日本地方学会学術集会	川崎幸病院における緑膿菌の検出状況と感染症専門医の影響について	東京	口演

看護部

竹内由紀	看護部	2018.9.8~9	第 24 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	気管内挿管後の舌潰瘍により摂食嚥下障害を呈した一例	仙台	口演
高橋香織	病院安全	2018.10.28	国際医療リスクマネジメント学会学術集会	医療安全ネットワークにおける各医療機関の役割 - 神奈川県事例を通して -	東京	口演

コメディカル部

八馬 豊	CE 科	2018.8.2	第 27 回日本心臓血管インターベンション治療学会	急性大動脈解離に合併した左冠動脈の虚血に対し、術前に PCI を施行した症例の報告	兵庫県	口演発表
長澤洋一	CE 科	2018.9.15	第 7 回 静岡 Perfusion Academy	川崎幸病院 大動脈センターの体外循環と安全対策	静岡県	特別講演
昆 真生	薬剤部	2018.8.18~19	第 12 回簡易懸濁法研究会総会・講演会・ポスター発表・実技セミナー	当院における簡易懸濁法の理解に関する調査	宮城県	ポスター

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
日月裕司	がん治療センター	日本臨床76巻増刊号 食道癌(第2版) 基礎・臨床研究の進歩	日本臨床76巻増刊号 食道癌(第2版) 基礎・臨床研究の進歩	雑誌・論説
寺戸雄一	病理科	BMC Clin Pathol	Biphasic low-grade nasopharyngeal papillary adenocarcinoma: a case report and literature review.	雑誌

看護部

竹内由紀	看護部	メディカ出版 糖尿病ケア 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥性肺炎への予防と対応	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 BRAIN NURSING 2018 vol.34 no. 7	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ベリネイタルケア 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 オペナーシング 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ネオネイタルケア 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ハートナーシング 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 エマージェンシー・ケア 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 透析ケア 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 消化器外科ナーシング 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 整形外科看護 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 眼科ケア 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 呼吸器ケア 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ナーシングビジネス 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ニュートリションケア 7号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 リハビリナース 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 産業保健と看護 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 YoRi-souがんナーシング 4号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第7回 誤嚥を予防するためのケア 呼吸訓練	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 糖尿病ケア 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 BRAIN NURSING 2018 vol.34 no.9	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ベリネイタルケア 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 オペナーシング 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ネオネイタルケア 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ハートナーシング 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 エマージェンシー・ケア 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 透析ケア 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 消化器外科ナーシング 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 整形外科看護 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 眼科ケア 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 呼吸器ケア 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ナーシングビジネス 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ニュートリションケア 9号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 リハビリナース 5号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 産業保健と看護 5号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 YoRi-souがんナーシング 5号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第9回 誤嚥を防ぐ食事の工夫① 食事姿勢	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 リハビリナース 5号	特集「こんなときどうする? 超実践 リハビリ病棟の口腔ケア 特集3 口腔ケアに使用する物品と効果的な使用方法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 糖尿病ケア 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 BRAIN NURSING 2018 vol.34 no.10	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ペリネイタルケア 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 オペナニング 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ネオネイタルケア 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ハートナーシング 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 エマージェンシー・ケア 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 透析ケア 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 消化器外科ナーシング 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 整形外科看護 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 眼科ケア 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 呼吸器ケア 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ナーシングビジネス 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌
竹内由紀	看護部	メディカ出版 ニュートリションケア 10号	カンパニオ「速習!今さら聞けない誤嚥&誤嚥性肺炎」第10回 誤嚥を防ぐ食事の工夫② 食形態・嚥下法	雑誌

コメディカル部

蒲池淳一	EMT 科	へるす出版 救急医学 10月号	救急救命士の現状と未来～活躍の場とその拡大を俯瞰する～	雑誌
------	-------	-----------------	-----------------------------	----

◆第二川崎幸クリニック

学会発表

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
田邊真由美、 藤田範子	看護科	2018.9.27～28	日本看護学会 - 慢性期看護 - 学術集会	HFS 予防対策への試み ～認定看護協働介入によって得られたもの～	静岡	ポスター

論文・教科書執筆等

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
安江正治	脳神経外科	川崎市医師会医学学会誌 第35巻	第二川崎幸クリニックにおける頭痛外来について	学会誌

◆アルファメディック・クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
佐藤 泉	検査科	2018.8.30～31	日本人間ドック学会	乳腺の構築の乱れについて	新潟	口演
坂上さやか	放射線科	2018.8.30～31	日本人間ドック学会	当院のデンスプレストへの対策	新潟	口演

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
山根正久	循環器内科	2018.9.11 ~ 12	CTO PCI WS	Live Case 5	フランス	オペレーター
山根正久	循環器内科	2018.9.15	Euro CTO Club 2018	Crossing complex collaterals (Which wires? Microcath?)	フランス	講演
山根正久	循環器内科	2018.9.15	Euro CTO Club 2018	Live Case 8	フランス	オペレーター
山根正久	循環器内科	2018.9.17 ~ 18	CTO PCI WS	Live Case 4	オーストリア	オペレーター
山根正久	循環器内科	2018.9.19	CTO PCI WS	Live Case 1	オーストリア	オペレーター
山根正久	循環器内科	2018.9.23	TCT 2018	CTO Retrograde Techniques Case #5: A Case U sing Epicardial Collaterals During Retrograde CTO	USA	講演
山根正久	循環器内科	2018.9.23	TCT 2018	Newer DES III	USA	コメンテーター
山根正久	循環器内科	2018.9.24	TCT 2018	Innovation in CTO PCI: Why Are We Getting Better?	USA	講演
山根正久	循環器内科	2018.9.24	TCT 2018	Session II. Procedural Basics	USA	コメンテーター
山根正久	循環器内科	2018.9.24	TCT 2018	The REVERSE-CART is Not Working: What Now?	USA	講演
山根正久	循環器内科	2018.10.2	CTO PCI WS	CTO Materials and tools in 2018	イタリア	講演
山根正久	循環器内科	2018.10.2	CTO PCI WS	Live Case 2	イタリア	オペレーター
山根正久	循環器内科	2018.10.4	TOBI 2019	Live Case 1	イタリア	オペレーター
山根正久	循環器内科	2018.10.5	TOBI 2018	The " Gaia Next" Technology	イタリア	講演
山根正久	循環器内科	2018.10.8	CTO PCI WS	Live Case 3	フランス	オペレーター
山根正久	循環器内科	2018.10.9	CTO PCI WS	Live Case 3	フランス	オペレーター
山根正久	循環器内科	2018.10.10	CTO PCI WS	Live Case 3	フランス	オペレーター
近藤竜史	脳神経センター	2018.8.24 ~ 25	East Asian Conference of Neurointervention 2018	Visual disorders caused by cranial arteriovenous fistula with venous drainage into superior ophthalmic vein.	Busan	Oral

【全国学会】

山根正久	循環器内科	2018.8.2 ~ 4	CVIT 2018	How to prepare and deal with the collateral channel injuries during CTO-PCI	神戸	講演
山根正久	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	Themed Live Case Transmission/Themed Live Case Transmission 1	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	Scientific Program/Master's contribution in complex PCI	神戸	講演
山根正久	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	International Joint Session/CIAT @ CCT2018 "The most educated cases in complex PCI"	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	International Joint Session/CIAT @ CCT2018 "The most educated cases in complex PCI"	神戸	講演
山根正久	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	PCI Live Case Transmission/PCI Live Case Transmission 7	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	Scientific Program/CTO	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	Scientific Program/Antegrade CTO	神戸	座長
山根正久	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	Joint Session/CCTI @ CCT: International cardiac CT conference for complex intervention 3rd Session:Case discussion -It's my strategy	神戸	座長
池 信平	循環器内科	2018.8.2 ~ 4	CVIT 2018	メディカル一般口演『ACS 05』	神戸	コメンテーター
池 信平	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	Themed Live Case Transmission 7	神戸	コメンテーター
西山茂樹	循環器内科	2018.10.25 ~ 27	CCT 2018	A case of Entrapped balloon due to incomplete deflation	神戸	ポスター
阿部敏幸	消化器内科	2018.9.27 ~ 28	第 54 回日本胆道学会学術集会	spyglass DS 下電気水圧衝撃波結石破砕術 (EHL) を施行した治療困難結石症例の治療成績	千葉	一般口演
岡島真理	腎臓内科	2018.9.28 ~ 29	第48回日本腎臓学会西部学術大会	急性腎障害を呈したが感染関連腎炎を認めなかった PR-3ANCA 陽性感染性心内膜炎の一例	徳島	ポスター
柳田充郎	外科	2018.7.7	第849回外科集談会	PET で集積を認め乳癌と同時に手術をした Splenic marginal zone B-cell lymphoma(SMZL) の 1 例	東京	一般口演

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
木山 宏	心臓血管外科	2018.10.3～6	第 71 回日本胸部外科 学会定期学術集会	B 型解離へのステントグラフトによるエントリー閉鎖におけるベ アステントの有用性の検討	東京	一般口演
児玉ひとみ	乳腺内分泌外科	2018.10.25～26	第 51 回日本甲状腺外 科学会学術集会	術前診断・画像	横浜	座長
都築伸介	脳神経センター	2018.10.10～13	日本脳神経外科学会 第 77 回学術総会	Minisphenoidal approach による中大脳動脈瘤 clipping 術 - 低侵襲かつ安全・確実な手術手技 -	仙台	ポスター
徳重一雄	脳神経センター	2018.10.10～13	日本脳神経外科学会 第 77 回学術総会	原始遺残前脈絡叢動脈分岐部動脈瘤に対して開頭クリッピング 術を行った一例	仙台	ポスター
石原正一郎	脳神経センター	2018.10.26～27	第 25 回一般社団法人 日本神経内視鏡学会	シンポジウム 9 神経内視鏡トレーニング	新潟	座長
徳重一雄	脳神経センター	2018.10.26～27	第 25 回一般社団法人 日本神経内視鏡学会	脳動静脈奇形に伴う脳内血腫に対し神経内視鏡下血腫除去を 施行した 2 例	新潟	口演
山崎美保子	放射線科	2018.8.31～9.1	JSAWI 2018	子宮捻転・壊死の一例	兵庫	ポスター
山崎美保子	放射線科	2018.10.5～7	第54回日本医学放射線 学会 秋季臨床大会	後腹膜の血管筋脂肪腫の一例	福岡	一般口演
黒川右基	麻酔科	2018.9.14～16	日本心臓血管麻酔学会 第 23 回学術大会	当院の心臓手術における手術室内抜管症例についての検討	東京	一般口演
塩味達也	皮膚科	2018.9.1～2	第 33 回日本皮膚外科 学会総会・学術集会	フルニエ壊疽に伴う校門括約筋の欠損により治療に難渋した 1 例	大阪	一般口演
鈴木康弘	心理相談科	2018.9.21～22	第 31 回日本サイコオン コロジー学会総会	当院におけるがん患者サロンの活動報告と今後の展望	石川	ポスター

【地方学会】

西山茂樹	循環器内科	2018.10.19～20	関東甲信越 CVIT 2018	ランチョンセミナー2 「POBA 再考」	東京	一般口演
都築伸介	脳神経センター	2018.9.8	第136回日本脳神経外科 学会関東支部学術集会	内頸動脈・遺残原始前脈絡叢動脈分岐部動脈瘤に対する開頭 クリッピング術の一例	東京	口演
志賀友香	初期研修医	2018.9.8	日本内科学会 第 644 回関東地方会	多発性肝嚢胞を合併した Unilateral renal cystic disease	東京	一般口演

【講演】

阿部敏幸	消化器内科	2018.9.12	Intermediate Training Seminar (ボ ストン・サイエンティ フィックジャパン)	EST,Biliarystenting,EMR,Colonicstent demonstration	宮崎	オペレーター
近藤竜史	脳神経センター	2018.9.26	Stryker Training Program in 宮崎 IAS		宮崎	ハンズオン 講師
近藤竜史	脳神経センター	2018.9.29～30	第 8 回 Hybrid Neurosurgery 研究会 ALICE Tokyo2018	一般演題	横浜	座長
近藤竜史	脳神経センター	2018.9.29～30	第 8 回 Hybrid Neurosurgery 研究会 ALICE Tokyo2018	SSS dAVF	横浜	症例提示
西川順治	リハビリテーショ ン科	2018.10.6	第28回認知リハビリテ ーション研究会	前脳基部健忘重症例に対するアプローチ 2	東京	一般口演
山崎美保子	放射線科	2018.10.12	第345回BODY-CT研 究会	1 週間前からの喘鳴、咳、痰で来院した 61 歳男性	東京	一般口演

看護部

福島俊江	看護管理室	2018.8.24～25	第 22 回 日本看護管 理学会学術集会	居場所の変更から見てきた看護師長が現場にいる意味と役割	兵庫	口演
飯屋 亮	4C 病棟	2018.8.9～10	第 49 回日本看護学会 学術集会 看護管理	PNS におけるパートナーとの関係性を構築する要素	宮城	口演
廣瀬杏樹	3C 病棟	2018.9.7～8	第 49 回日本看護学会 学術集会 急性期看護	術後患者への離床時の看護 ～離床時の合併症が起こった患者への離床の進め方について学 んだこと～	大分	口演
弓場美咲	3A 病棟	2018.9.27～28	第 49 回日本看護学会 学術集会 慢性期看護	難治性の疾患を抱えた患者との信頼関係を構築する看護	静岡	口演
鈴木聡佳	3B 病棟	2018.9.27～28	第 49 回日本看護学会 学術集会 慢性期看護	内服中断で入退院を繰り返す高齢心不全患者の内服管理への 思い	静岡	示説
高地 希	3B 病棟	2018.9.27～28	第 49 回日本看護学会 学術集会 慢性期看護	達人看護師が水分制限のある慢性心不全患者に関わる際の思 考プロセス	静岡	示説
川田美鈴	4D 病棟	2018.9.27～28	第 49 回日本看護学会 学術集会 慢性期看護	緩和ケア病棟に異動した新人看護師が抱く家族ケアの困難感	静岡	示説
井上明紀代	4A 病棟	2018.9.28～29	第 20 回日本褥瘡学会 学術集会	褥瘡予防ケアの統一により褥瘡が軽快した一例	横浜	示説
加古幸子	看護管理室	2018.10.12～13	第 19 回日本クリニカル パス学会学術集会	電子カルテ移行への取り組みと課題	函館	示説

薬剤部

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
小倉弥生	薬剤部	2018.8.25～26	日本病院薬剤師会関東ブロック第48回学術大会	新病院移転に伴う病棟薬剤業務内容の変化と今後の課題	栃木	ポスター
田中雄大	薬剤部	2018.8.25～26	日本病院薬剤師会関東ブロック第48回学術大会	当院で新たに導入した手術室サテライトファーマシーでの業務内容と今後の展望	栃木	ポスター
若月秀明	薬剤部	2018.8.25～26	日本病院薬剤師会関東ブロック第48回学術大会	計数調剤支援システム(F-Wave)導入による有用性の検討	栃木	ポスター

放射線部

吉野冬馬	放射線部	2018.9.15	循環器画像研究会 第348回 定例会	テクニカルディスカッション	東京	口述
坂口功亮	放射線部	2018.9.21	第34回 日本診療放射線技師学術大会	頭部用コイルスパーサーの有無による感度補正フィルター強度の検討	山口	口述
諸田智章	放射線部	2018.9.22	第34回 日本診療放射線技師学術大会	頸動脈プラーク検査における Variable refocusing flip angle 3D-FSE 法を用いた T1WI の検討	山口	口述
坂口功亮	放射線部	2018.9.26	第42回 SAITAMA MRI Conference	DWIBS 各社ユーザーからの視点	埼玉	口述
吉野冬馬	放射線部	2018.10.6	第34回 日本放射線技術学会 秋季学術大会	FPD 搭載移動型 C アームでの下位頸椎描出能の撮影モードによる相違の検討	宮城	口述
邨井優大	放射線部	2018.10.6	第34回 日本放射線技術学会 秋季学術大会	低管電圧 70kV を使用した冠動脈 CT 撮影プロトコルの検討	宮城	口述
庄谷宗嗣	放射線部	2018.10.25	CCT2018	最新血管装置の線量調査	兵庫	ポスター
中根寛人	放射線部	2018.10.25	CCT2018	冠動脈造影における小焦点撮影の可能性	兵庫	ポスター

検査部

森田輝明	生理検査室	2018.10.27	第55回 日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会	救急外来への臨床検査技師常駐の現状と課題 - 救急チーム医療への貢献 -	群馬	一般公演
小川明子	CE 部	2018.10.28	第55回 日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会	甲状腺ホルモン検査の院内測定開始に際する外注センターとの比較	群馬	一般公演
笹原元気	CE 部	2018.10.28	第55回 日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会	埼玉県脳梗塞治療ネットワーク～POCTによるPT-INRとクレアチニンの測定～	群馬	一般公演

栄養部

秋山好美	栄養部	2018.10.28	第6回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会	シンポジウム「ひとり一人が主治医になれ」	山梨	シンポジスト
安達順子	栄養部	2018.10.28	第6回日本静脈経腸栄養学会関東甲信越支部学術集会	急性期病院におけるNST 歯科回診	山梨	一般・口演

事務部

早川千恵	診療情報管理室	2018.9.20～21	第44回日本診療情報管理学会学術大会	手術記録の早期完成率向上への取り組み	新潟	口演
------	---------	--------------	--------------------	--------------------	----	----

論文・教科書執筆等

リハビリテーション部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
入江忠信	循環器内科	Therapeutic Research 第39巻10号 (2018年10月号)	持続性心房細動に対し figure of 8型肺静脈隔離術を行い、洞調律化が得られた症例	雑誌
小林陽平	リハビリテーション部	理学療法学	急性期脳血管障害患者における歩行予後予測モデルの交差妥当性 - 当院での検討 -	論文

◆さやま総合クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
菅野壮太郎	外科	2018.8.30	第59回日本人間ドック学会学術大会	膵アミラーゼ高値者の内訳及び膵アミラーゼと推定糸球体濾過量との関連	新潟市	口演
根上昌子	健診センター	2018.8.31	第59回日本人間ドック学会学術大会	加齢と体形変化の分布	新潟市	口演
星 君枝	元 初期研修医	2018.8.31	第59回日本人間ドック学会学術大会	メタボリックシンドロームや脂肪肝と生活習慣との関連 - 特定健診標準的な質問票結果からの横断調査 -	新潟市	口演
菅野壮太郎	外科	2018.8.30	第59回日本人間ドック学会学術大会	一般演題 (ポスター発表)「消化器」	新潟市	座長
大塚博紀	健診センター	2018.8.30	第59回日本人間ドック学会学術大会	一般演題 (ポスター発表)「組織運営(施設運営)」	新潟市	座長

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
菅野壮太郎	外科	2018.9.19～21	第44回日本診療情報管理学会		新潟	共同演者 / 座長
菅野壮太郎	外科	2018.10.11～13	第19回日本クリニカルパス学会		北海道	共同演者

診療部以外

濱野 涼	総CL) 健診センター	2018.8.31	第59回日本人間ドック学会学術大会	特定健診受診時期による標準的な質問票結果の違い	新潟市	口演
------	-------------	-----------	-------------------	-------------------------	-----	----

◆さやま腎クリニック

学会発表

診療部

【地方学会】

池田直史	腎臓内科	2018.9.8	第644回日本内科学会 関東地方会		秋葉原	腎臓分野座長
------	------	----------	-------------------	--	-----	--------

【講演会】

池田直史	腎臓内科	2018.8.24	埼玉西部地区糖尿病談話会	CKDとDKD ～エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2018を踏まえて～	所沢市	特別講演演者
池田直史	腎臓内科	2018.8.30	CKD-MBD Expert Seminar in 前橋	CKD-MBDの新しい治療戦略 ～当院におけるエテルカルセチドの使用経験～	前橋市	特別講演演者
池田直史	腎臓内科	2018.9.12	新川地区透析講演会	CKD-MBDの新しい治療戦略 ～当院におけるエテルカルセチドの使用経験～	魚津市	特別講演演者
池田直史	腎臓内科	2018.9.27	地域医療連携セミナー	CKDガイドライン2018改定ポイントと新しいCKDケア	狭山市	座長
池田直史	腎臓内科	2018.10.2	CKD-MBD Forum in ASAHI	CKD-MBDの新しい治療戦略 ～当院におけるエテルカルセチドの使用経験～	旭市	特別講演演者
池田直史	腎臓内科	2018.10.5	埼玉西部エリア糖尿病セミナー	糖尿病 Up to Date ～臨床でのDPP4阻害薬とSGLT2阻害薬をより活かすために～	狭山市	座長
池田直史	腎臓内科	2018.10.12	鳥居CKD-MBDカンファレンス in 埼玉西部	リンと鉄から透析医療を考えてみましょう	狭山市	座長
池田直史	腎臓内科	2018.10.22	オルケティア アドバイザリー会議	Ca受容体作動薬の違いを考慮したオルケティア錠の適正使用について	川越市	座談会
野平由香	人工透析内科	2018.10.2	明日から始める腹膜透析セミナー	Session1	所沢市	座長

診療部以外

佐藤 歩	医療技術科 CE室	2018.10.13～14	第22回日本アクセス研究会学術集会・総会	『透析中におけるVA機能評価の取り組み』	広島	講演
------	-----------	---------------	----------------------	----------------------	----	----

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
池田直史	腎臓内科	ラジオ日本(毎週金曜 12:15～12:30)	「教えて!ラジオクリニック」	メインパーソナリティー

◆新緑脳神経外科

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
大川浩平	検査・放射線科	2018.9.21	第34回 日本診療放射線技師学術大会	B1シムがContrast Noise Ratio(CNR) に与える影響	山口	ポスター
大川浩平	検査・放射線科	2018.10.11	日本放射線腫瘍学会 第31回学術大会	波の音と能動的タッピングを用いた呼吸安定法の提案	京都	ポスター

◆新緑脳神経外科

学会発表

【講演会】

府中圭子	リハビリテーション科	2018.10.18	第29回 全国介護老人保健施設大会埼玉	STを中心に口腔ケアを改善し一定の効果をえた報告	大宮	口演
------	------------	------------	---------------------	--------------------------	----	----